

ほ っ か い どう て
北海道手をつなぐ育成会

ぜ ん どう た い か い
全道大会

お び ひ ろ た い か い ほ ん に ん た い か い
帯広大会本人大会

け つ ぎ ぶ ん
決議文

あ ん
(案)

け つ ぎ ぶ ん い ぎ
< 決議文の意義

け つ ぎ い み
(決議する意味)

>

この決議文は、1995年旭川大会より大会に参加した本人同士が話し合って作成しているものです。

「～すること。」の「こと」を聞く人によっては、きつく受け取ってしまうかもしれない。けれど、私たちは、表現が難しい中で、自分の思いを伝える機会が少なく、奪われてきました。障害者権利条約第21条に「私たちに自分伝えたい方法で自分の気持ちや考えを伝える権利があります。」と書かれています。伝えきれない仲間がいることを考え、文字にして自分たちの要求が伝わるように、正しい情報となるように、決議文を作り、伝え続けています。

1. 私たちに関することは、必ず私たちをまじえて話し合って決めること。

2. 福祉サービスについて、わかりやすい言葉でちゃんと伝わるまで説明をすること。

3. 私たちが楽しく自分らしい生活を送るために、必要な支援を受けられることにすること。

4. 私達の就労（仕事）を保障し、賃金（工賃）を上げるために、国や道、行政は所得補償に責任を持つこと。

5. 日常生活や、新型コロナウイルス感染症、災害の時に、障がいのことを理解し、個々の障がいに合わせた対応(合理的配慮)をおこなうこと。

6. 日本では「障害者の権利条約」を受け入れました。「障害者差別解消法」が平成28年4月から始まりました。「障害者虐待防止法」は見直す必要があります。私たち当事者の意見を聞き、よりよいものにしていくこと。

7. 障害のあるなしに関係なく、全ての子どもが地域の学校で、義務教育を受ける権利を保障し、共に学ぶ体制を整えること。
- 

8. 2018年、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳の様式でカード化が可能になる法律改正がありました。しかし、北海道は財政難を理由に取り組んでいません。一日も早く実現をしてください。
9. 戦争の報道を聞くたびに心が張り裂けそうです。戦争は命あるものすべてに対する虐待、暴力であり、決して許してはならない優生思想そのものです。殺し合いからは何も生まれません。私たちは一日も早い平和を望みます。
- 2022年 8月7日

だい
第28回

かいほっかいどう て
北海道手をつなぐ育成会

いくせいかいぜんだうたいかい
全道大会

おびひろたいかい
帯広大会

ほんにんたいかい
本人大会

さんかしゃ
参加者

100めい
100名

けつぎ
の決議

＜本人決議文の歴史＞							
1	1995年	あさひかわたいかい 旭川大会	210名	16	2010年	もんべつたいかい 紋別大会	263名
2	1996年	だ て たいかい 伊達大会	207名	17	2011年	ふかがわたいかい 深川大会	328名
3	1997年	くしろたいかい 釧路大会	186名	18	2012年	おとぶけたいかい 音更大会	216名
4	1998年	るもいたいかい 留萌大会	280名	19	2013年	くっちゃんだいかい 倶知安大会	192名
5	1999年	さっぽろたいかい 札幌大会	700名	20	2014年	はこだてたいかい 函館大会	200名
6	2000年	あばしりたいかい 網走大会	270名	21	2015年	きたひろしまたいかい 北広島大会	272名
7	2001年	いしかりたいかい 石狩大会	278名	22	2016年	あさひかわたいかい 旭川大会	223名
8	2002年	おびひろたいかい 帯広大会	やく 約300名	23	2017年	さっぽろたいかい 札幌大会	600名
9	2003年	おたるたいかい 小樽大会	374名	24	2018年	とまこまいたいかい 苫小牧大会	268名
10	2004年	はこだてたいかい 函館大会	207名	25	2019年	なよろたいかい 名寄大会	270名
11	2005年	たきかわたいかい 滝川大会	300名	26	2020年	きたみだいかい 北見大会	ちゅう 止
12	2006年	あさひかわたいかい 旭川大会	300名	27	2021年	いわみざわたいかい 岩見沢大会	やく 約100名 オンライン
13	2007年	とうや こ たいかい 洞爺湖大会	335名	28	2022年	おびひろたいかい 帯広大会	やく 約100名 オンライン
14	2008年	さっぽろたいかい 札幌大会	800名	29			
15	2009年	くしろたいかい 釧路大会	220名	30			